

平成24年度「十七字のふれあい事業」表彰の伝達式

- 日時 平成25年1月29日（火） 午後3時～
- 場所 県北教育事務所 相談室

福島県教育委員会による「十七字のふれあい事業」表彰で、佳作に輝いた二本松市立とうわこども園の渡辺詩織さんとお母さんの渡辺仁美さん、二本松市立安達中学校2年齋藤敏貴さんと祖母の齋藤力子さんへの伝達式を行いました。

この事業は、子どもと家族、子どもと地域の大人、子どもと子どもなど、家庭や地域の人と人とのかかわりの中で感じた思いや願いなど十七音で表現し「絆」を深めることを目的として実施しています。



面川所長と記念撮影

夏の夜 小さな気づく 祖母の肩
肩をもむ 孫の力に たくましさ

祖母 齋藤 力子
二年 齋藤 敏貴

ままみてて じょうずにできた やさいきり
ふぞろいの 野菜を見ては 美味さ倍

二本松市立とうわこども園 渡辺 詩織
母 渡辺 仁美

渡辺詩織さんは、こども園の年長さんです。最近、お母さんのお手伝いをたくさんできるようになってきたそうです。お母さんは、安全にできるようにやさしく見守りながら、我が子に感謝の気持ちで声かけをしているそうです。平成22年度には、詩織さんのお兄さんとお母さんの作品が最終選考に残り、「県北域内優秀作品」に掲載されています。今回は詩織さんとお母さんの作品が表彰され、家族みんなで「十七字のふれあい」に取り組んでいる姿が目につかぶようです。

齋藤敏貴さんの俳句の先生はお祖母さんだそうです。お祖母さんは俳句をたしなんでおり、これまでも敏貴さんの指導をしてくれているそうです。平成19年度には、敏貴さんとお祖母さんが優秀賞をいただき、県の表彰式に出席しました。敏貴さんは、学校では剣道部に所属し活躍しています。所長からも来年度はリーダーとして活躍するよう励ましの言葉がありました。お祖母さんからは、冬の冷たい武道場の床で足が冷たかろうと敏貴さんを思いやる言葉が聞かれました。

なお、最優秀賞の表彰は、1月19日（土）に自治会館で行われました。県北地区からは、二本松市立安達太良小学校5年塩見颯己さんと父親の塩見友彦さん親子が表彰されました。（表彰式の様子は、福島県教育庁社会教育課ホームページでご覧いただけます。）

十七字のふれあい事業には、県全体で36,037組の応募があり、県北域内から3,370組ありました。たくさんのご応募ありがとうございました。